



ミニ消防自動車贈呈式を挙行

令和2年11月9日（月）午後4時から海部東部消防組合消防署において、ミニ消防自動車寄贈に伴うミニ消防自動車贈呈式を挙行しました。

当組合へ車両を寄贈いただきました株式会社三和スクリーン銘板様は、会社設立40周年を迎えられ、取締役会長後藤務様が「お世話になっている地域に貢献したい、特に幼年期教育のお役に立てていただきたい」との要望から車両を寄贈いただく運びとなりました。

贈呈式では、ミニ消防自動車の愛称命名者表彰もあわせて行いました。

ミニ消防自動車の導入に伴い愛称の募集をしたところ、多数の応募をいただき、厳正な審査の結果、大治町在住の牧野心美さん応募の「ミニぼう」に決定しました。

ミニ消防自動車贈呈式

式次第

- 一 開式
 - 二 贈呈者紹介
 - 三 贈呈車両説明
 - 四 車両贈呈（レプリカキー贈呈）
 - 五 管理者謝辞
 - 六 愛称命名者表彰（消防長表彰）
 - 七 記念撮影
 - 八 閉式
- デモンストレーション
- 乗車体験及び放水体験（式典参加園児）

○開式



○贈呈者紹介



○贈呈車両説明



☆軽自動車をベースに造られ、荷台中央に100リットルの水槽を設置し、水中ポンプにて25ミリホースから弱めの圧力で放水でき、幼年期の子供でも体験することができます。

また、後部には可搬ポンプを積載し、消火栓、防火水槽等の水源から65ミリホースにて放水が可能であり、実際の火災にも対応できる車両となっています。

※緊急車両としての登録もされています。

○車両贈呈（レプリカキー贈呈）



○管理者謝辞



○愛称命名者表彰（消防長表彰）



○愛称決定



最優秀賞

応募作品	ミニぼう
応募者	牧野 心美 さん (大治町)
意味	「消防車のぼう」と「小さいのミニ」という意味を込めて名付けました。 また、「ぼう」をひらがなにすることで、小さい子どもでも読むことができ、誰もが覚えやすく呼びやすく、親しみやすい名前を考えました。

○記念撮影



(写真左から)

- 水野消防長
- 村上管理者
- 株式会社三和スクリーン銘板 代表取締役会長 後藤 務 様
- 株式会社三和スクリーン銘板 代表取締役社長 後藤 英一郎 様
- 牧野 心美 さん (愛称命名者)

○閉式



デモンストレーション ～乗車体験及び放水体験（式典参加園児）～



このページに関するお問い合わせ先

海部東部消防組合消防本部消防課
電話：052-442-1605（直通）